

## ⑦地域の伝統・文化に関する活動（地域コミュニティ協議会）

### 事例① 鳥追い・ならせ餅【川原代ふれあい協議会】

#### ★活動内容

消えゆく地元伝統行事の継承を目的に「鳥追い祭り・ならせ餅」を開催。

「無病息災」「五穀豊穡」「家内安全」「交通安全」「商売繁盛」「合格祈願」を願い、子どもから大人まで楽しめる行事である。

#### ★活動スケジュール・プロセス

- ①10月～11月に農家からもち米を1俵半購入、わらの確保。
- ②12月に保健所・消防署へ書類を提出。
- ③1月正月明けの日曜日にコミュニティセンター裏で、切ってきた竹とわらと縄で鳥追い祭りの小屋作り。前日は買い出しをして、食材を用意。
- ④1月13日もち米を水に浸し、食紅で着色。買い出しをして、もつ煮、雑煮の汁、鴨鍋、あんこ、きな粉を用意する。
- ⑤1月14日8時から紅白のもち米を蒸かし、ならせ餅の餅を丸める。ならせ餅用の樁の木（協議会、川原代小、市役所に飾る）を切りに行く。夜のどんと焼き用の篠を100本切ってくる。
- ⑥来賓、川原代小の児童と餅つき後、餅を食べて、樁の木に紅白の餅を咲かせる。コミュニティセンターに飾るならせ餅は20日に餅の数当てクイズを行う。
- ⑦暗くなってから、小屋に火をつけて鳥追い祭り（どんと焼き）を行う。正月飾り・お札・お守り・ダルマのお焚き上げをする。その火で、篠につけた餅を焼いて食べ、「無病息災」「五穀豊穡」「家内安全」「交通安全」「商売繁盛」「合格祈願」を願う。用意していたもつ煮、雑煮、鴨鍋、あんこ、きな粉、焼き鳥をふるまう。
- ⑧ならせ餅は、「20日の風に当てるな」とい

う言い伝えがあり、20日に餅をもぎとり数を数えて、数当てクイズの当選者にはプレゼントをする。餅はしばらく乾燥させて、あげ餅を作る。

#### ★活動の成果・課題

餅つきとならせ餅は日中に行うので、一般の参加者が少ない。川原代小の児童が餅つきを楽しみ、とてもおいしいと喜んでいる。

伝統行事なので、小屋の作り方から子どもたちに覚えてもらいたい。子どもから大人まで楽しめる伝統行事なので、これからも続けていきたい。

#### ★苦勞した点・工夫した点

小屋作りにわらをたくさん使い農家から集めていたが、最近は、稲刈りの時に機械で砕いてしまうので、集めるのが大変になり、インターネットで購入もしている。地域の方から樁の木を切らせていただいているが、毎年行っているのに樁の木を探すのが大変になってきた。

1俵半のもち米を蒸かして丸めて、木にならせるまでの時間が短いので、手伝いの人数と手順が大事である。小屋の燃える火が空高く上がるので、しっかり消火をするようにする。



問合せ先：川原代コミュニティセンター（川原代ふれあい協議会事務局）TEL：0297-66-7263

## ⑦地域の伝統・文化に関する活動（住民自治組織）

### 事例② 盆綱【千秋区】

#### ★活動内容

「盆綱」は、宮渚町千秋地区に古くから伝わる伝統行事で、盆の入りの8月13日の夕方に、小中学生男女10人位で、縄・わら・竹等で作った長さ10メートル位の籠に見立てた綱（写真参照）に、先祖の霊を乗せ、集落の家々に送り届ける。その際にお礼としておひねり（心づけ）をいただく。新盆の家では、ジュース、スイカ、お菓子なども用意している。おひねりは、後に子どもたちで分ける。

この行事は、昭和55年（1980年）以降途絶えていたが平成13年に有志の方々が復活させました。平成27年11月に龍ヶ崎市民遺産に認定されています。

#### ★活動スケジュール・プロセス

7月 実施決定し、地区内へ通知回覧

8月 ①盆綱の材料の調達（わら、柳の木、麦わら等）

②盆綱の作成（縄、たいまつ等）

※①と②を当日の1週間前までに準備

8月13日 午後6時開始

8月14日 片付け

#### ★活動の成果・課題

- ・先祖の供養の大切さや薄れつつある地域のつながりを呼び戻せる。
- ・課題としては、少子化による担い手不足。

#### ★苦勞した点・工夫した点

- ・地区に在住の子どもがいない（中学生1人のみ在住）ので、参加者がなかなか集まらない。（地域にゆかりのある子どもに参加してもらっている。）



問合せ先：市コミュニティ推進課 TEL：0297-64-1111